



ロータリー:
変化をもたらす

Weekly Report

小諸浅間ロータリークラブ

- ◆例会日/週火曜日 12:30~13:30 ◆例会場/小諸市鶴巻 音羽
- ◆事務局/〒384-0025 長野県小諸市相生町 1-2-12 エイワンビル 2 階
- ◆会 長 / 小池平一郎 ◆副 会 長 / 橋詰 希望
- ◆幹 事 / 小林 秋生 ◆ガバ広報・情報委員長 / 依田 晋一



2017~2018 年度

国際ロータリーのテーマ

NO. 1399 平成30年2月6日

◆点鐘	小池平一郎 会長
◆SAA	加藤 輝男 委員
◆ソング	君が代・誕生日の歌
◆ゲスト	森 健 様(信州味噌(株)代表取締役)

◆誕生祝

黒田説成会員・前田博志会員・青松英和会員

◆結婚祝

矢島栄一会員・まゆみ夫人

◆皆勤祝

矢島栄一会員(10回)

【会長挨拶】 小池平一郎 会長

今日はゲストに信州味噌の社長 森健さんをお迎えてして卓話を頂きます。大変楽しみにしており、よろしく願い致します。

去る2月2日(金)東信第一グループの会長・幹事会が佐久グランドホテルであり、小林秋生幹事と行って参りました。

第1は2月28日(日)にIM・会員セミナーが東信第一及び第二グループ合同で佐久ロータリークラブが主幹で丸子ロータリークラブが副幹で佐久グランドホテルで開催されます。午後1時からですので、多数の皆様参加をお願い致します。

第2は会員増強についてで、東信第一グループだけは現在7名の増加が計れたが下半期もうひとふんばりして欲しいので、頑張りましょう。

第3は東信第一グループのクラブ合同事業について、佐久ロータリークラブから合同で広告を新聞に掲載し、対外的広報活動を試みようとの提案がありました。本日の理事会にお計り致します。

その他、次々期ガバナー補佐の選出を蓼科ロータリークラブに依頼したことや、親睦ゴルフ大会を企画しているなどの議題がありました。

2月4日(日)第2600地区の職業奉仕セミナーが松本キッセイ文化ホールで開催され、青松奉仕プロジェクト委員長と共に行って参りました。ロータリーの職業奉仕とは何かという命題に対し、基調講演として菓匠 shimizu のシェフパティシエの清水慎一さんが「菓子創りは夢創り」と題して、自分の職業を通していかに回りの人々を幸せにできるか、自分と一緒に働くスタッフのやりがいや喜びをいかに共有できる

か、働くという事は傍楽という事にしたいというお話があり、その後会員の事例発表があり、あづみ野RCの小穴実会員からは歯科医の立場で、上田RCの織英子会員からは、弁護士という立場で、長野北RCの岡村肇会員は、ホテルやレストランの起業という立場で、岡谷エコRCの山崎廣和会員は機械製造・開発の立場で、さらに職業をとおして若者を応援する話、飯田RCの久保田栄一会員は菓子造りの立場でのお話を聞き、それぞれの職業奉仕をとおして社会に係り、自分達が職業によって幸せになって行くことがロータリーの最初の目的にかなうのではないかなどと感じて帰って参りました。

今日、青松委員長は欠席ですがまた何かの機会に委員長の弁舌を聞ければと思います。

【幹事報告】 矢島 栄一 副幹事

1. ロータリーの友事務所よりロータリー手帳について
1部 600円+消費税 締切 2月25日 事務局へ
2. 関邦則ガバナーより2018~2019年度地区研修・協議会について
4月1日、開催予定が4月8日変更
次期委員長の皆様は出席お願い致します。詳しくは後日にお知らせ致します。

3. 例会変更

佐久コスモスRC	2月12日(月)	定刻受付なし
	2月19日(月)	定刻受付あり
小諸RC	2月21日(水)	定刻受付あり
上田東RC	2月14日(水)	定刻受付なし

4. 週報

上田西、東御RC

・例会終了後現及び次期合同理事会

【本日の配布物】

週報 1398号、ガバナー月信2月号

◆出席報告 山口 洋一 委員

会員数22名	出席義務者22名	免除者0名
本日	出席 18名	
	事前MU 1名	81.82%
前々回(1/23)	MU 0名	75.00%

◆ラッキー賞

NO. 12 矢島 英夫 君

◆ニコBOX 黒澤 明男 委員長

小池平一郎君	森社長、本日は有難うございます。ご歓迎申し上げます。奥様共々お世話になっております。
矢島 栄一君	結婚祝、皆勤祝をいただき有難うございました。森社長さん、今日は宜しくお願ひします。

前田 博志君	誕生日、ありがとう。
中河 邦忠君	森社長、卓話有難うございます。
黒田 説成君	いつの間にか 80 歳となりました。
矢島 英夫君	森社長、ラッキー賞を引いていただき有難うございました。

【本日のプログラム】 「みその話」 信州味噌(株) 代表取締役社長 森 健 様



略歴

- 1946年 東京で生まれる
- 1965年 酪農学園大学酪農学部入学
- 1969年 協同乳業(株)入社
- 1973年 (有)東亜農公園入社
- 1978年 信州味噌(株)入社

大学では「乳製品研究室」に席を置き、牛乳タンパクの科学に触れる。

就職した乳業メーカーでは牛乳製造ラインの自動化および生産合理化の実践と商品開発に従事する。

大学入学と同時に知人の紹介で、前社長・現会長小山邦武との知遇を得、大学卒業後も深い関係を継続していた。その間、小山一族との関係も広がり、信州味噌への転職のきっかけにつながる。

転職した信州味噌では大豆煮汁をRO（逆浸透膜）装置を使用し、有価物の回収と味噌用酵母菌の純粋培養を行い、従来タブーとされていた低塩分の味噌醸造の開発をした。

同時に良質な原料大豆の入手に力を注ぎ、同業他社には無い優良な品種を独自のルートで使用する道筋を構築した。

開発室室長を20年勤めた後、工場長を7年、専務取締役工場長を10年歴任、2014年より代表取締役社長に就任。

信州味噌(株)創業の長兄正邦、次兄邦朋とも社員としては一番近い関係を逝去に至るまで継続した。

次週のプログラム:2月13日 「化粧回し贈呈式」

次々週のプログラム:2月20日 「IM・会員セミナー報告」